

5 耐震補強金具吊込み工の施工歩掛は次による。

耐震補強金具吊込み工

(1箇所当り)

名 称	単位	数量	摘 要
配管工	人		第5-1表参照
普通作業員	人		〃
トラック運転 又は トラッククレーン運転費	時間 又は 日		〃
諸雑費	式	1	端数処理
※ 本歩掛は耐震補強金具の吊り込みから据付けまでの作業に適用する。また、20m程度の現場内小運搬を含む。			
※ 現場の状況に応じて割増することができる。（第5-2、5-3表参照）			

第5-1表 耐震補強金具吊込み工 歩掛表

(1箇所当り)

呼び径	労務費		クレーン機種	クレーン 運転時間 (h)	クレーン 賃料 (日)
	配管工 (人)	普通作業員 (人)			
φ 7 5 mm	0.01	0.02	クレーン付トラック 4 t 積2.9 t 吊	0.14	—
φ 1 0 0 mm	0.01	0.02		0.15	—
φ 1 5 0 mm	0.01	0.02		0.17	—
φ 2 0 0 mm	0.02	0.02		0.19	—
φ 2 5 0 mm	0.02	0.03		0.21	—
φ 3 0 0 mm	0.02	0.03		0.19	—
φ 3 5 0 mm	0.03	0.04		0.21	—
φ 4 0 0 mm	0.03	0.05		0.20	—
φ 4 5 0 mm	0.04	0.06		0.20	—
φ 5 0 0 mm	0.05	0.07		0.21	—
φ 6 0 0 mm	0.05	0.08		0.19	—
φ 7 0 0 mm	0.07	0.10		0.22	—
φ 8 0 0 mm	0.07	0.11		0.21	—
φ 9 0 0 mm	0.10	0.14		0.25	—
φ 1 0 0 0 mm	0.13	0.20	トラッククレーン油 圧伸縮ジブ型4.9 t 吊	—	0.05
φ 1 1 0 0 mm	0.19	0.28		—	0.06

作業条件による補正

埋設物の量及び埋設状態並びに作業条件により、作業量に影響があるため、次の施工条件指数の計に対する補正係数によって補正することができる。

第5-2表 施工指数

施工条件	指数	内容	条件
埋設物	0	少ない	多少横断あり
	2	やや多い	横断が多い、または路線に沿って輻輳している。
	4	多い	掘削内に平行して露出している等、施工に支障がある。
作業帯	0	良好	下記①②条件を含まない。
	2	普通	①又は②条件いずれかを含む。
	4	不良	①②条件共含む。

作業帯条件

- ①作業帯が狭く施工に支障がある。
- ②家屋等に近接しており、施工に支障がある。

第5-3表 補正係数

指数計	0	2～4	6～12
係数	1.0	1.2	1.5